Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

HDS026-16 会場:101 時間:5 月 22 日 18:15-18:30

総合討論：津波即時予測技術の革新に向けて取り組むべき課題は何か？
Comprehensive discussions: What should we do for innovation of tsunami early warning

林 豊 [1*], 馬場 俊孝 [2]
Yutaka Hayashi[1*], Toshitaka Baba[2]

[1] 気象研究所, [2] 海洋研究開発機構
[1]Meteorological Research Institute, [2]JAMSTEC

本セッション「H-DS26 津波とその即時予測」では，海底地すべりや火山活動による津波も含め，その発生・伝播・観測・予測など，広く津波に関する内容を扱う．特に，海域での津波観測技術，リアルタイム津波予測手法，高精度浸水予測，動的ハザードマップなど，津波予測技術の高度化に関する理学，工学，防災分野の発表に焦点をあてる．

口頭発表プログラムの最後には,「津波即時予測技術の革新に向けて取り組むべき課題は何か？」をテーマとする総合討論の時間を設ける．このテーマに関係する課題としては，例えば，以下の事項が考えられる．

(1) 沖合津波観測網の開発・整備
(2) 津波観測データの流通
(3) リアルタイム津波予測手法の高度化
(4) 必要な研究を推進する体制の構築
(5) 現在の課題と今後の方向性
(6) その他

本セッション発表者と津波即時予測に関心のある方々には，総合討論への積極的な参加を期待している．また，その議論が各参加者の今後の研究活動に貢献することも期待している．

キーワード: セッションのまとめ, 津波即時予測
Keywords: session summary, tsunami early warning